

令和8年度【京丹波町立蒲生野中学校】学校経営方針

1 学校教育目標

自ら学ぶ意欲を持ち、人権を尊び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

2 めざす生徒像

〈 自ら学び考える生徒 〉

- ◆学ぶ楽しさと意義を感じ、自らのより良い成長を目指して、主体的に学びに向かう生徒を育てる。
- ◆授業を通して互いに学び合う態度を育て、基礎的な知識や技能を確実に習得させるとともに、課題解決のために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけさせる。
- ◆特別活動や探究的な学習等を通して多様な経験と交流をさせ、認知能力・非認知能力を一体的に身につけ、将来にわたって前向きにより良く生きていこうとする力を育む。

〈 生命と人権を尊重する生徒 〉

- ◆生命の尊さや人権の大切さを学校教育活動全体の中で学ばせ、人権侵害とりわけ「いじめ」を許さない、確かな人権認識や人権感覚を持つ生徒を育成する。
- ◆社会的な規範意識、豊かな道徳性を身につけさせるとともに、多様性を尊重し、自他を大切にできる心と態度を育む。

〈 心身ともに健康な生徒 〉

- ◆健康的な生活習慣を身につけさせ、健康な心と身体づくり、積極的に体力向上に取り組む生徒を育成する。
- ◆物事を前向きに捉え、よりよい自分を目指して努力する態度や失敗を恐れずチャレンジするたくましさを育てる。

3 昨年度の学校経営における成果と今後の課題（中期的課題）

【成果】教職員間で本年度の研究主題を事あるごとに確認し、常にそこに戻って教育活動を進めるように徹底して取り組んだ。
○人権尊重を基盤とした教育活動を推進し、互いに認め合い、自他を大切にできる心と態度を育むことができた。
○特別活動の充実と発達支持的生徒指導の視点を大切にされた指導で、個と集団の成長を促すことことができた。
○「学びを育む京丹波町メソッド」の理念に基づき、本校の課題に即した授業研究を進め、質的改善が進んだ。
○通常学級に在籍する支援が必要な生徒の対応について校内研修等で理解を深め、生徒がより安心して学べる環境づくりができた。
○他校種の連携を意識して進め、小中及び中高連携を強化することができた。
【課題】目指す生徒像の実現を追求していくため、さらに工夫した取組が必要である。
◆特別活動、探究的な学習等一層の充実を図り、生徒を全ての活動の主体者とし、認知非認知能力を一体的に育む。
◆生徒主体の授業づくりと学力の定着・向上について研究と実践を一層進める。
◆全ての生徒にとって学校や学級が安心安全な居場所となる取組を行い、成長を促す生徒指導を目指す。
◆コミュニティ・スクールを進め、地域ぐるみで切れ目なく育ちを支える教育活動を進める。
◆防災教育を一層推進するため、関係機関との連携を進める。

4 本年度の学校経営の重点

(1) 人権教育の推進

- ・一人ひとりの資質や能力を伸ばし、個に応じた進路を保障する。
- ・確かな人権認識と人権感覚を育て、自他の生命と人権を尊重する生徒を育てる。
- ・教育活動全体を通して、仲間を大切にし、育ち合う学校文化を根付かせる。

(2) 生徒指導の充実

- ・生徒指導提要进行を踏まえ発達支持的生徒指導を先行的に進め、適切な価値付けを通して自己肯定感の向上を図る。
- ・校内外の関係諸機関と十分に連携を図り、教育相談活動を充実させ、学校が安心安全な居場所となる取組を進める。
- ・手帳を活用し、自己管理能力と望ましい生活習慣を身につけさせる。

(3) 特別活動の充実

- ・特別活動を通して生徒主体の学校づくりを進め、育ち合う集団を育成し、高まり合う関係性を構築する。
- ・トライ＆エラーの経験も含めた活動の過程を大切にして、多様な経験と交流をさせ、認知能力・非認知能力を一体的に身につけさせる。

(4) 指導方法工夫改善による学力向上

- ・校内研究体制の充実を図り、「蒲生野中メソッド」を推進するとともに、随時検証・改善を進める。
- ・「何のために学ぶのか」を実感できる生徒主体の授業づくりと、学力の定着と向上について研究・実践を進める。
- ・学力診断テスト（質問紙含む）の分析を改善に生かす。
- ・生涯学習の観点のもと読書指導を工夫し、読書習慣を身につけさせる。

(5) 特別支援教育の充実

- ・支援を要する生徒を的確に把握し、ニーズに応じた指導と支援を実現する。
- ・通級指導教室の効果的な運営を実現し、安心して学べる環境づくりに取り組む。
- ・コーディネータを中心に校内外の連携を充実させ、組織的な支援体制を構築する。
- ・教育活動全体にユニバーサルデザインの視点を反映させる。

(6) 新たな教育課題を見据えたチーム学校づくり

- ・公教育としての責任を果たしつつ、働きがいと同僚性の高い職員集団を目指す中で働き方の質的改革を進める。
- ・探究的な学びや体験的な学習の質的充実を図る。
- ・安全対策（猛暑・大地震を主とする災害）を推進するとともに、防災教育の充実を図る。
- ・道徳の授業や日々の教育活動を通して、豊かな道徳性を養う。
- ・小中連携、中高連携、地域連携の充実を図る。
- ・学校運営協議会の活動を一層進める。

5 令和8年度研究主題

「『最高の蒲生野中学校』を一層高めるために共有したい言葉
“Synergy”

めざす生徒像 「自らの学びに向き合う生徒」

めざす学校像 「安心して学べる学校、安心して働ける学校」

めざす教師像 「学びながら実践し、実践しながら学ぶ専門職」

生徒向けに

「『最高の蒲生野中学校』を一層高めるために共有したい言葉
“Synergy”

生徒の皆さんにつけてほしい3つの力

心を表すことばの力

◎生きた言葉によって豊かな心を作る生徒

・対話によって日々の経験を言葉で蓄積しよう

つながる（つなげる）力

◎学びと学び、学びと経験を繋ぐ生徒

・認知能力と非認知能力を一体的に育もう

考え続ける力

◎わからなさ・できなさに向き合う生徒

・悩みの中に居続ける力、寄り添う力を養おう